科目名	基礎デザイン							年度	2025
英語科目名	Creative Design Practice							学期	前期
学科・学年	建築設計科　１年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	丸山　尚子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計		

【科目の目的】

・幾何学立体を観察し、形態を正しく描き、陰影や素材感をとらえてデッサンすることができる
・アクソメ図やアイソメ図、さらにパースについて理解し立体的に描くことができる
・美しく平面構成する方法を理解し、プレゼンテーションシートを平面構成することができる

【科目の概要】

形態・陰影・素材感をよく観察し、平面上に正確にデッサンする技術を習得する
立体的な建築空間を表現する際に用いられるアクソメ図、アイソメ図の描き方を習得する
建築・インテリアの空間のポイントをとらえ、１消点および２消点のパースの描き方を習得する

【到達目標】

A. 形態・陰影・素材感を観察し、正確にデッサンできる
B. アクソメ図、アイソメ図を理解し描くことができる
C. １消点および２消点のパースを理解し描くことができる

【授業の注意点】

評価は出席状況や提出状況と成果物をルーブリックにもとづいて行い、講評会においても評価を行う。
学生による自己評価及び相互評価も実施し、評価に勘案する。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル３ 優れている		レベル２ ふつう		レベル１ 要努力
到達目標 A	鋭い観察眼から形態を正確にとらえ、ハッチングで陰影や素材感を精緻にデッサンすることができる		形態をとらえるように努力し、ハッチングで陰影や素材感をデッサンすることができる		形態をとらえるように努力せず、ハッチングで陰影や素材感をデッサンすることができていない
到達目標 B	アクソメ図、アイソメ図で縮尺を定めた精緻な立体図を描くことができる		アクソメ図、アイソメ図で縮尺を定めた立体図を描くことができる		アクソメ図、アイソメ図を理解しておらず、描くことができていない
到達目標 C	１消点や２消点のパースで、空間のポイントを理解しつつ、魅力的な空間を描くことができる		遠近法を理解し１消点や２消点のパースで、空間を描くことができる		遠近法を理解しておらず、１消点や２消点のパースを描くことができていない

【教科書】

『図形ドリル　平面・立体表現の基礎を学ぶ』学芸出版社

【参考資料】

資料プリント

【成績の評価方法・評価基準】

授業への取り組み姿勢、出席状況、成果品とプレゼンテーション等で評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	基礎デザイン	年度	2025
英語表記	Creative Design Practice	学期	前期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	科目概要説明 第一課題 タングラム	科目の目的・内容を理解する	1	科目概要	科目の目的・内容を理解している	2	
			2	授業方法	他科目との関連や授業実施方法を理解している		
		形を構成し作る	3	タングラム	７種類のピースを構成し目標となる形をつくる		
2	第二課題 立方体の デッサン	立方体を観察し デッサンを描く	1	フォーム	面をハッチングしながらアタリをとる	2	
			2	マテリアル	ハッチングを重ね面の暗さと素材感を表現する		
			3	シャドウ	光源の位置から生まれる机上の影を描く		
3	第三課題 円柱の デッサン	円柱を観察し デッサンを描く	1	フォーム	面をハッチングしながらアタリをとる	2	
			2	マテリアル	ハッチングを重ね面の暗さと素材感を表現する		
			3	シャドウ	光源の位置から生まれる机上の影を描く		
4	第四課題 円錐の デッサン	円錐を観察し デッサンを描く	1	フォーム	面をハッチングしながらアタリをとる	2	
			2	マテリアル	ハッチングを重ね面の暗さと素材感を表現する		
			3	シャドウ	光源の位置から生まれる机上の影を描く		
5	第五課題 球体の デッサン	球体を観察し デッサンを描く	1	フォーム	面をハッチングしながらアタリをとる	2	
			2	マテリアル	ハッチングを重ね面の暗さと素材感を表現する		
			3	シャドウ	光源の位置から生まれる机上の影を描く		
6	第六課題 「陽の家」の アクソメ図	「陽の家」を アクソメ図で描く	1	平面図	平面図を60度と30度に傾けて下描きする	2	
			2	壁・建具	壁・建具を寸法通り立ち上げて描く		
7			1	設備	設備を寸法通り立ち上げて描く	2	
			2	造作・家具	造作・家具を寸法通り立ち上げて描く		
8	第七課題 「陽の家」の アイソメ図	「陽の家」を アイソメ図で描く	1	平面図	平面図を左右とも30度傾けて下描きする	2	
			2	壁・建具	壁・建具を寸法通り立ち上げて描く		
9			1	設備	設備を寸法通り立ち上げて描く	2	
			2	造作・家具	造作・家具を寸法通り立ち上げて描く		
10	第八課題 建築パース （１消点図法）	名作建築①のパーススケッチを描く	1	透視図の解説	１消点の透視図の仕組みや描き方を理解する	2	
			2	名作建築①の解説	名作建築①の動画を鑑賞し、ポイントを理解する		
			3	パース	地平線と消点をとらえ名作建築のパースを描く		
11	第九課題 建築パース （２消点図法）	名作建築②のパーススケッチを描く	1	透視図の解説	２消点の透視図の仕組みや描き方を理解する	2	
			2	名作建築①の解説	名作建築①の動画を鑑賞し、ポイントを理解する		
			3	パース	地平線と消点をとらえ名作建築のパースを描く		
12	第十課題 建築の旅	名作建築①を訪ね写真を撮りスケッチを描く	1	建築選び	名作建築①を選び設計者とポイントを調査する	2	
			2	建築訪問	名作建築①を実際に訪問し内部空間も見学する		
			3	写真とスケッチ	現地で建築写真を撮り、スケッチを描く		
13		名作建築②を訪ね写真を撮りスケッチを描く	1	建築選び	名作建築②を選び設計者とポイントを調査する	2	
			2	建築訪問	名作建築②を実際に訪問し内部空間も見学する		
			3	写真とスケッチ	現地で建築写真を撮り、スケッチを描く		
14		名作建築③を訪ね写真を撮りスケッチを描く	1	建築選び	名作建築③を選び設計者とポイントを調査する	2	
			2	建築訪問	名作建築③を実際に訪問し内部空間も見学する		
			3	写真とスケッチ	現地で建築写真を撮り、スケッチを描く		
15		名作建築④を訪ね写真を撮りスケッチを描く	1	建築選び	名作建築④を選び設計者とポイントを調査する	2	
			2	建築訪問	名作建築④を実際に訪問し内部空間も見学する		
			3	写真とスケッチ	現地で建築写真を撮り、スケッチを描く		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等